

AKAI[®]
PROFESSIONAL

EWISOLO

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support

目次

はじめに.....	4
サポート.....	4
セットアップ	4
マウスピースの取り外し方/マウスピースのお手入れ.....	4
マウスピースの取り付け方.....	5
重要	5
1. EWI Solo の電源について.....	5
2. EWI Solo の持ち方.....	6
3. 接続.....	6
4. 演奏.....	7
機能	9
操作	11
プログラム	11
プログラム/お気に入りの保存.....	12
エディットモード	12
FX (エフェクト)	14
Reverb (リバーブ).....	14
Chorus (コーラス).....	14
Delay (ディレイ).....	15
Global Menu (グローバルメニュー)	16
その他の機能	25
設定の初期化.....	25
充電池.....	25
ファームウェアのアップデート.....	26
付録	27
運指一覧	27
EWI (EWI 標準).....	28
Saxophone (サクソフォン).....	29
Flute (フルート).....	30
Oboe (オーボエ).....	31
EVI (EVI 標準).....	32
EVI (EVI リバース).....	32
メニュー早見表.....	33
プログラムリスト.....	36
仕様/商標およびライセンス.....	38

はじめに

同梱物

EWI Solo 本体	EWI Solo Editor ソフトウェア (ダウンロード提供)
USB ケーブル	ユーザーガイド/保証書
USB 電源アダプタ	
ネックストラップ	

サポート

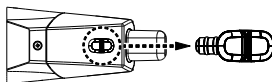
この製品に関する最新情報 (ドキュメンテーション、技術仕様、システム要件、互換性情報など) および製品登録については、akai-pro.jp をご覧ください。

その他の製品サポートについては、akai-pro.jp/support をご覧ください。

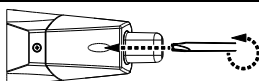
セットアップ

マウスピースの取り外し方

1. マウスピースカバーから**ゴム製ストッパー**を外します。

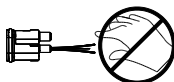
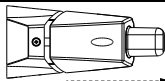


2. 標準的なプラスドライバーでマウスピースカバーのネジを外します。



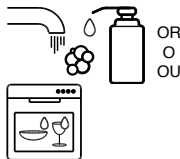
3. EWI Solo 本体からゆっくりマウスピースを外します。

重要: バイト・センサーの金属製の突起が壊れてしまわないよう、マウスピースの取り外しおよび装着は十分に気をつけて行ってください。



マウスピースのお手入れ

1. 本体から取り外したマウスピースは、石けんで洗うことができます。また、食洗機で洗うことも可能です。

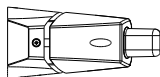


2. マウスピースは、完全に乾いてから本体に取り付けてください。

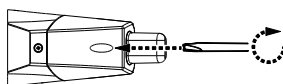


マウスピースの取り付け方

1. バイト・センサーの金属製の突起に最新の注意を払い、EWI Solo 本体にゆっくりマウスピースを装着します。

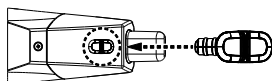


2. 標準的なプラスドライバーでマウスピースカバーのネジを締めます。マウスピース内部に湿気が入らないように、ネジは十分に締めてください。ただし、きつく締めすぎると故障の原因になりますのでご注意ください。



3. マウスピースカバーにゴム製ストッパーを装着します。これにより、マウスピース内部への湿気の侵入を軽減することができます。

重要：マウスピース保護用キャップを装着する際は、ゴム製ストッパーを外してください。



重要

EWI Solo を操作する前に、以下の点にご確認ください。

- **マウスピースを強い力で噛みすぎないこと：**ピラート・センサーが壊れてしまう可能性があります。また、演奏後や本体を持ち運ぶ際は、必ずマウスピース・カバーを取り付け、マウスピース部分を保護してください。
- **演奏する際は：**アース・プレートとオクターブ・ローラーに必ず触れていてください。これらのセンサーは演奏者の体と接地している必要があります。
- **マウスピースは清潔に：**演奏の前後には、少し湿った清潔な布でマウスピースの表面を清掃してください。

1. EWI Solo の電源について

EWI Solo は充電電池から電源を供給します。使用に際しては、以下の点にご確認ください。

- **充電：**付属の USB ケーブルを使用して EWI Solo 下部の USB 端子に接続し、(a) 付属の USB 電源アダプタを AC コンセントと接続する。または、(b) 電源のオンになったコンピュータと接続することで電源を供給します。EWI Solo は充電中にもご使用いただけます。充電中は **POWER LED** がゆっくり点滅します。
- **電源：**USB に接続すると、自動的に電源がオンになります。USB に接続せず電源をオン/オフにするには、EWI Solo の **POWER** ボタンを 1 秒長押しします。
- **充電電池の残量：**充電電池の残量は、**encoder** を回すか押すとディスプレイ右下のアイコンに表示されます。
- **充電電池残量の低下：**充電電池の残量が少なくなると **POWER LED** とディスプレイ右下のアイコンが点滅し、充電を促します。
- **オート・パワーオフ：**約 **30 分**操作をしない状態が続くと、EWI Solo は自動的に電源がオフになります。この設定は **Global Menu** で変更可能です。但し、使用にならない際は EWI Solo の電源をオフにすることをお勧めします。

詳しくは[操作>その他の機能>充電電池](#)をご参照ください。

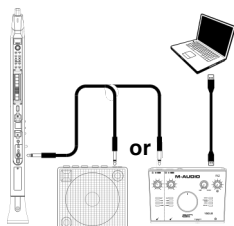
2. EWI Solo の持ち方

1. 本体のネックストラップ・クリップに、ストラップを確実に装着します。
2. ストラップを首にかけ、ノート・キー上部に左手/下部に右手を添え、EWI Solo のスピーカー部分が下になるように身体の正面で垂直に持ちます。
3. 演奏の際は、左手の親指を本体背面のオクターブ・ローラーに、右手の親指をグラウンディング・プレートに置きます。



3. 接続

重要：EWI Solo は **LINE OUT** 端子やヘッドフォン端子、または内臓スピーカーからも音声を同時に出力できます。但し、コンピュータに接続して本体の電源がオフになっている場合（下図、3 番目の接続例）では、コンピュータに MIDI メッセージが送られますが、音声は出力されません。この設定は **Global Menu** で変更可能です。

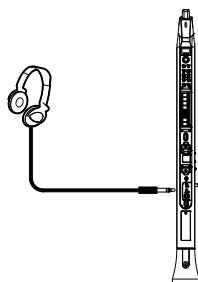


EWI Solo の音声を外部アンプ、オーディオ・インターフェースで出力するには：

1. 1/4" (6.35mm)ケーブルを使用して、EWI Solo の **LINE 出力** 端子と キーボードアンプやオーディオ・インターフェースなどのラインレベル入力端子を接続します。

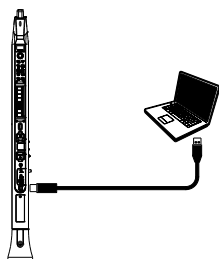
重要：LINE 出力端子はモノラル出力です。外部接続機器のモノラル入力端子に TS 又は TRS ケーブルを接続してご使用ください。

2. EWI Solo の **POWER ボタン** を押して、電源を入れます。



ヘッドフォンで演奏するには：

1. ヘッドフォン端子に 3.5mm のステレオヘッドフォンを接続します。
2. EWI Solo の **POWER ボタン** を押して、電源を入れます。



EWI Solo を USB MIDI コントローラーとして使用するには：

1. EWI Solo の **POWER ボタン** 1 秒長押しして、電源をオフにします。
2. 付属の USB ケーブルを使用して、EWI Solo をコンピュータに接続します。

4. 演奏

唇と歯の間でマウスピースを優しく挟み、口の両脇から息を漏らしながらゆっくり息を吐きます。EWI Solo のプレスセンサーはこの息の強さを感知し、息の強さによって音量と音色を変化させます。強く吹きすぎる必要はありません。

ヒント：

- マウスピースには、マウスピースを噛んだ強さに反応するバイト・センサーが搭載されています。マウスピース を優しく噛むと、ビブラート効果がかかります。噛み続けるのではなく軽く何度も噛むことで効果が生じます。強く噛みすぎるとマウスピースやセンサーを痛める可能性がありますのでご注意ください。
- 口の両脇から息を抜きながら、口で「トゥットゥットゥ」とか「トゥクトゥク」と吹くことによって、いわゆるタンギングを行うことができます。
- EWI Solo は、プレーヤーの身体の静電容量によって動作するため、乾いた手で操作した場合などに、ノート・キーやオクターブ・ローラー、ピッチベンド・プレート、グライド・プレートなどの反応が悪くなることがあります。そのような際には、ノンオイルタイプのハンドクリームなどを少量手に塗ってお試してください。また、これらの機能の感度は **Global Menu** で調節することが可能です。

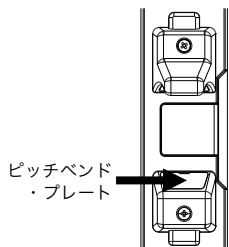
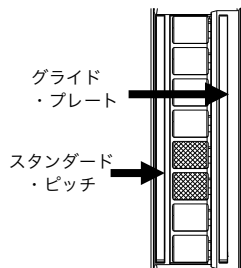
ノート・キー：ノート・キーは通常の管楽器のキーとは異なりタッチセンサーになっていますので、軽く指でキーに触れるだけでその音を出すことができます。EWI Solo には複数の運指モードが搭載されていますので、サクソやフルートのような感覚で演奏できます。また、最下段の三つのキーは、手の大きさなどに合わせて、上部のネジを緩めて向きを調整することができます。

重要：ネジを緩める際は、ネジが本体から完全に外れてしまわないようにご注意ください。

オクターブ・ローラー：EWI Solo のバックパネル上でローラーとローラーの間に左手親指を置き、二つのローラーに常に触れている状態で使用します。スタンダード・ピッチ（基本のオクターブ・レンジ）のポジションは、ローラーにギザギザのついているところとなります。

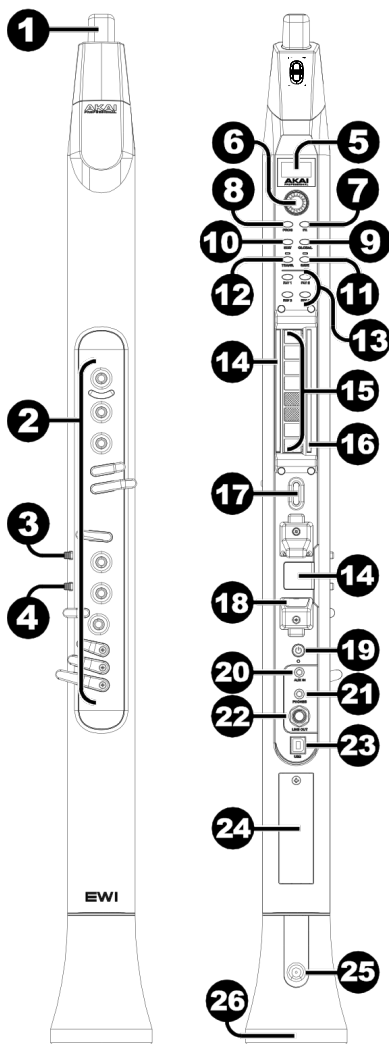
グライド・プレート：演奏中、左手の親指でこのグライド・プレートに触れながらオクターブ・ローラーで音程を変える（二つのローラーに触れたまま親指を上下する）と、グライド効果（ポルタメント：音程を滑らかに上げ下げすること）を得ることができます。

ピッチベンド・プレート：ピッチベンドプレートに右手の親指で触れることで、ピッチベンド効果（音程のアップ・ダウン）を得ることができます。ピッチベンド効果の設定は **Global Menu** で調整することができます。ベンドに慣れるまでは、無意識にこのプレートに触れてしまうことがありますので、ご注意ください。ベンド・プレートはネジを緩めて位置を調整することができます。調整が完了したら、ネジを締め直してください。



機能

1. **マウスピース**：管楽器の様に、唇と歯の間で優しく挟みます。息を吹きながらマウスピースを噛むことでピブラート効果を得られます。但し、**強く噛み締めないでください**。
2. **ノート・キー**：演奏時に音程を決めるためのキーです。詳しくは本書の**付録>運指一覧**をご参照ください。また、下の三つのキーは上部のネジを緩めて向きを調整することができます。
3. **ホールド・ボタン**：このボタンを押すことでホールド・モードに入ります。初期設定はレガート (LE) で最初のノートを維持したまま別のノートを重ねて演奏することができます。ホールド・モードの設定は **Global Menu** で調整することができます。Program/Favorite リストを表示中にこのボタンを長押しすると、1つ前のプログラムに戻ります。
4. **インターバル・ボタン**：このボタンを押すことでインターバル・モードに入ります。初期設定は固定 (Fd) で、演奏しているノートの1オクターブ下の音を重ねて演奏することができます。設定は **Global Menu** で調整することができます。Program/Favorite リストを表示中にこのボタンを長押しすると、1つ次のプログラムに移動します。
5. **ディスプレイ**：プログラムナンバーやメニューを表示し、パラメータ調整にも使用します。
6. **エンコーダー・ノブ**：ディスプレイ間のナビゲートやプリセット選択に使用します（選択中のモードにより異なる）。モードが選択されていない際は、音量調節ノブとして機能します。
7. **エフェクト (FX) ボタン**：このボタンを押すことで、リバーブ (rb)、コーラス (ch)、ディレイ (dL) からのエフェクトの選択と、パラメータ調整が可能です。一つ前のページに移行するか FX メニューを終了するには、再度 FX ボタンを押します。詳しくは**操作>FX(エフェクト)**をご参照ください。
8. **プログラム (Program) ボタン**：このボタンを押すと、プログラム・ナンバーがディスプレイに表示されます。**エンコーダー・ノブ**を回して選択したプログラムは、再度エンコーダー・ノブを押すとロードします。詳しくは**操作>プログラム**をご参照ください。
9. **グローバル (Global) ボタン**：このボタンを押すと Global Menu を開き、各種機能が設定できます。詳しくは**上級者向け機能>Global Menu**をご参照ください。



10. **エディット (EDIT) ボタン**：このボタンを押し、プログラムエディットコントロール画面を開くと、選択中のプログラムの**ピッチチューニング**、**フィルター**、**LFO1**、**LFO2** の設定を調整できます。詳しくは**操作>エディットモード**をご参照ください。より高度なエディットを行うには、**Akai-pro.jp** にて EWI Solo Editor Software をダウンロードしてください。

11. **セーブ(Save)ボタン**：このボタンを押し、設定に変更点を加えた現在のプログラムを Favorite リスト内の1つにセーブします（4つまで別にセーブ可能）。プリセットに変更点を加えた場合は、このボタンの上のLEDが点灯します。セーブを行わずに別のプリセットを選択すると、一つ前のプリセットに加えた変更点は消えてしまいます。

詳しくは**操作>プログラム**をご参照ください。

12. **トランスポーズ (TRANS.) ボタン**：このボタンを押すと、トランスポーズ機能のオンとオフが切り替えられます。オンの時には LED が点灯します。トランスポーズの値は、このボタンを長押ししながらエンコーダ・ノブを回して値を調節し、ボタンを離すと選択した値に設定されます。

13. **お気に入り (Favorites) ボタン**：セーブした Favorite リストにアクセスするにはこのボタンを押します。リストにプログラムをセーブするには**セーブ(Save)ボタン**を使用します。

詳しくは**操作>プログラム**をご参照ください。

14. **グラウンディング・プレート**：演奏中は常にこのプレートに触れるようにしてください。

15. **オクターブ・ローラー**：これらのローラーを転がすようにして親指を上下させると、キーに触れて出した音のオクターブ・レンジが変わります。変化幅は4オクターブ上まで、または2オクターブ下までの範囲です。演奏中は、常にローラーに触れているようにしてください。ローラーに EWI Solo を吹くと、一番低いオクターブの音が鳴ります。

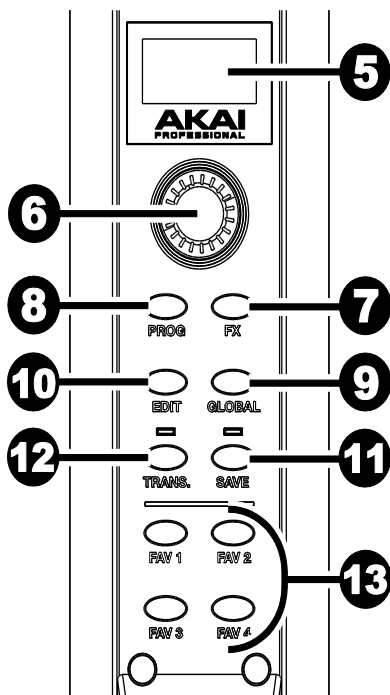
16. **グライド・プレート**：音を鳴らしながらこのプレートに触れると、ピッチを連続的に上下させる「グライド」効果（ポルタメントと呼ばれる表現テクニック）が得られます。MIDI コントロールチェンジメッセージ送信にも使用できます。

17. **ネック・ストラップ・クリップ**：同梱のネック・ストラップをここに装着します。

18. **ピッチバンド・プレート**：演奏中にこのプレートに触れると、ピッチを上または下にバンドさせることができます。ピッチバンドの効果は設定により変わり、設定は **Global Menu** で調整することができます。プレートの位置は、固定ネジを緩めることで微調節できます。

19. **パワー (POWER) ボタン**：USB ケーブルに接続していない状態でこのボタンを1秒間長押しすると、**ディスプレイ**にメッセージが表示され、EWI Solo の電源がオンまたはオフになります。

20. **Aux 入力**：3.5 mm の TRS ケーブルで、この EWI Solo の Aux 入力との外部オーディオデバイスの出力と接続します。外部オーディオデバイスから入力されたシグナルは使用している出力に応じてスピーカーなどへ送られます。



注意：Aux 入力の音声は、Line outへ出力されません。

21. **PHONES 出力**：ヘッドフォン（別売）の 3.5mm のステレオヘッドフォンケーブルを、このジャックに接続します。
22. **LINE 出力**：6.35mm の TS/TRS ケーブルで、キーボード・アンプやオーディオ・インターフェイス、スピーカー・システムなどの入力端子に接続するモノラル出力です。
23. **USB ポート**：標準的な USB ケーブルで、このポートとコンピュータの USB ポートを接続します。この接続によって、EWI Solo に電源が供給され、コンピュータに MIDI メッセージを送信しながらバッテリーの充電も行います。
24. **バッテリーカバー**：標準的なプラスドライバー（別売）でこのカバーのネジを外し、バッテリーを装着してカバーをふたたびネジ留めします。
25. **ウォータードレイン**：演奏により本体に溜まった水滴が排出されます。
26. **スピーカー**：EWI Solo での演奏音声を出力します。スピーカーの音量は（モードが何も選択されていない状態の）エンコーダー・ノブで調整できます。スピーカーをオフにする場合は、**Global Menu** で設定することができます。

操作

EWI Solo は、内蔵音源モジュールと内蔵エフェクトを備えた MIDI ウィンドシンセサイザーです。管楽器のアコースティックなサウンドだけでなく、多種多様な電子楽器の音色で演奏することができます。

EWI Solo は、練習すればするほど上手に演奏できます。最初は難しく感じるかもしれませんが、自分の演奏スタイルを見つけて発展させていくと、無限の可能性があることに気づくと思います。難しいルールや近道はありません。詳しくは、[付録>メニュー早見表](#)をご参照ください。

プログラム

EWI Solo の内蔵メモリには 200 種類のサウンドを内蔵しております。サウンドや、保存したセンサーの設定はプログラムを切り替えるだけで瞬時に変更することができます。

プログラムを選択するには

1. **Prog** ボタンを押し、プログラムリストを表示する。
2. **エンコーダー・ノブ**を回し、リストから任意のプログラムを選択し、**エンコーダー・ノブ**を押す。

または、**Hold** ボタンの長押しで 1 つ前のプログラムを、**Interval** ボタンの長押しで次のプログラムをロードすることもできます。いずれかのボタンを長押しし続けると、1 秒毎に 1 つ前/次のプログラムに切り替わります。

また、**Direct Mode** で特定のプログラムを選択することもできます。

1. **Prog** ボタン、もしくは **FAV** ボタンのどれか 1 つを長押しします。**Prog** ボタンを長押しするとプログラムリストが、**FAV** ボタンを長押しするとお気に入りリストを表示されます。
2. ボタンを押しながら、ノート・キーを 1 つ押さえてマウスピースを吹いてください。プログラムリストもしくはお気に入りリスト上で、押さえたキーに割り当てたプログラムが開きます。

注意：複数のノート・キーに触れた場合には、触れた中で一番高い位置のキーに割り当てられたプログラムが選択されます。

詳しくは、[付録>プログラムリスト](#)をご参照ください。

プログラム/お気に入りの保存

プログラムに変更点を加えると **Save ボタン** の LED が点灯します。この時点ではまだ変更点は保存されておりません。プログラムへの変更点は、**Save** 機能で**お気に入りリスト**の1つに保存してください。この機能は、セットリストなどのお気に入りのプリセットを管理するのにも便利です。

プログラムをお気に入りリストに保存するには

1. **Save** ボタンを押します。
2. ディスプレイを見ながら**エンコーダー・ノブ**を回し、プログラムの保存先を **FAV1**、**FAV2**、**FAV3**、**FAV4**の中から選択し、エンコーダー・ノブを押します。
3. 選択したお気に入りリスト内の 25 のプログラムが表示されます。**エンコーダー・ノブ**を回し、プログラムを保存する空きスロットを選択し、エンコーダー・ノブを押します。
4. 確認メッセージが表示されるので、エンコーダー・ノブを回し **Yes** を選択し、エンコーダー・ノブを押します。別の空きスロットを選択する段階に戻るか保存をやめるには、**No** を選択してください。

プログラムをお気に入りリストに保存すると、保存作業が完了してもそのプログラムが選択された状態になっています。**FAV1**、**FAV2**、**FAV3**、**FAV4** ボタンのいずれかを押せばお気に入りリストを開じることができます。

エディットモード

EWI Solo の**エディットモード**では、内蔵プログラムのプリファレンスをお好みの設定に編集することができます。

EWI Solo のプログラムを編集するには：

1. **エディット (EDIT) ボタン**を押してエディットモードを開く。
2. **エンコーダー・ノブ**を回し、**ピッチチューニング**、**フィルター**、**LFO1**、**LFO2** から設定を調整するオプションを選択する。
3. **エンコーダー・ノブ**を押して、選択したオプションのパラメータを表示する。
4. **エンコーダー・ノブ**を回してパラメータの値を調整し、設定します。**エディット (EDIT) ボタン**を押して、一つ前の画面に戻ります。
5. 再度**エディット (EDIT) ボタン**を押して、エディットモードを終了します。

設定に変更点を加えた現在のプログラムを Favorite (お気に入り) リストにセーブする場合は**セーブ(Save)ボタン**を押して、**エンコーダー・ノブ**を回してプログラムをセーブする Favorite (お気に入り) リストを1つ選択します (4つまで作成可能)。

このボタンを押して、現在のプログラム (への変更点を含む) を Favorite リスト4つのうち1つにセーブします。プリセットに変更点を加えた場合は、このボタンの上の LED が点灯します。セーブを行わずに別のプリセットを選択すると、一つ前のプリセットに加えた変更点は消えてしまいます。

注意：セーブを行う際にセーブされるのは、プログラムごとに変更が適用される設定のみです。EWI Solo 本体全体の設定はセンサーやチューニングに影響するため、全てのプログラムに反映されます。

ヒント：EWI Solo sound editor ソフトウェアを使用すると、より多種のプログラムパラメータ調整や精密なチューニングが行えます。EWI Solo ソフトウェアの最新バージョンは Akai-pro.jp からダウンロードしてください。

EWI Solo のプログラムを編集するには：

1. **エディット (EDIT) ボタン**を押しエディットモードを開きます。
2. **エンコーダー・ノブ**を回し、**ピッチチューニング、フィルター、LFO1、LFO2** から設定を調整するオプションを選択します。
 - **Pitch Tuning(ピッチチューニング)**：プログラムの大まかなピッチをチューニングします。吹いたノートのピッチに対して最大1オクターブ上もしくは下 (-1200 ~ 0 ~ +1200 セント間) に調整することができます。
 - **Filter (フィルター)**：
 - **Cutoff (カットオフ)**：カットオフフィルターの中心周波数を調整します (-100 ~ 0 ~ +100%)。
 - **Resonance (レゾナンス)**：カットオフフィルターのレゾナンスを調整します (0 ~ +22.5 dB)。
 - **LFO 1**：フィルター、ピッチや音量などのパラメーターを変化させるローフリークエンシー・オシレーターを調整することができます。
 - **Frequency**：LFO の速度を (-100 ~ 0 ~ +100%) から調整します。
 - **Delay (ディレイ)**：LFO が有効化するまでの時間を設定します (10.0ms ~ 9.99s)。
 - **Amplitude (音量)**：LFO によるトレモロエフェクトの音量を設定します (0.0 dB ~ +12.0 dB)。
 - **Filter (フィルター)**：LFO によるワウエフェクトのフィルター値を設定します (-100 - 0 - +100%)。
 - **LFO 2**：プログラムのモジュレーション (CC#1) のかかり具合を調整します。
 - **Frequency**：LFO の速度を (-100 ~ 0 ~ +100%) から調整します。
 - **Delay**：LFO が有効化するまでの時間を設定します (10.0ms ~ 9.99s)。
 - **Pitch**：LFO の大まかなピッチをチューニングします (-1200 ~ 0 ~ +1200)。
3. **エンコーダー・ノブ**を押し、選択したオプションのパラメーターを表示する。
4. **エンコーダー・ノブ**を回してパラメーターの値を調整し、設定します。**エディット (EDIT) ボタン**を押し、一つ前の画面に戻ります。
5. 再度**エディット (EDIT) ボタン**を押し、エディットモードを終了します。

設定に変更点を加えた現在のプログラムを Favorite (お気に入り) リストにセーブする場合は**セーブ(Save)ボタン**を押し、**エンコーダー・ノブ**を回して、プログラムのセーブ先となる Favorite (お気に入り) リストを1つ選択します。

詳しくは[プログラム>プログラム/お気に入りの保存](#)をご参照ください。

注意：セーブする場合、プログラムに適用される設定のみが保存されます。EWI Solo 本体全体の設定はセンサーやチューニングに影響するため、全てのプログラムに反映されます。

FX (エフェクト)

EWI Solo の FX メニューを使って、オーディオ出力にかけるリバーブとコーラス、ディレイの 3 種類のエフェクトを、選択/編集することができます。

重要：エフェクトを編集するには、EWI Solo のオーディオ出力を ON にしておいてください。EWI Solo を MIDI コントローラとしてのみ使用している (PRESET の LED が点滅している) 場合には、**POWER ボタン**を長押しして、PRESET の LED が点灯した状態にしてください。

ヒント：プログラムにエフェクトを追加すると、**Save ボタン**の LED が点灯します。詳しくは、[プログラム>プログラム/お気に入りの保存](#)をご参照ください。

Reverb (リバーブ)

Reverb (リバーブ) はある特定の部屋における残響をシミュレートした、空間系のエフェクトです。

リバーブをプログラムに追加するには

1. **FX ボタン**を押します。
2. ディスプレイを見ながら**エンコーダー・ノブ**を回し、**Reverb** を選択しエンコーダー・ノブを押します。
3. **エンコーダー・ノブ**を回し、リバーブの設定を **Off**、**Small Room**、**Large Room**、**Hall**、**Cavern**、**Custom** の中から選択し、エンコーダー・ノブを押します。

設定をカスタマイズできるパラメーターの種類は以下の通りです。

- **Level**：リバーブのエフェクトレベルを (0 ~ 100) から調整します。
- **Damping (ダンピング)**：特定の部屋でリバーブ音が減衰するにつれて、高域成分が吸収される度合いを調節します。0 では高域成分は吸収されず減衰時間も最長になります。100 では高域成分が最も多く吸収された状態で、より温かみのあるサウンドになります。
- **Room (ルームサイズ)**：リバーブがシミュレートする部屋の大きさを設定します。0 では小さな部屋、100 では大きな部屋のシミュレーションになります。

エンコーダー・ノブを回してパラメーターを選択し、エンコーダー・ノブを押してパラメーター設定画面へと進みます。エンコーダー・ノブを回してパラメーターを調節したら、**FX ボタン**を押して前のページへ戻ります。

4. FX メニューを終了するには再度 **FX ボタン**を押します。

Chorus (コーラス)

コーラスは、ピッチを揺らしてディレイをかけた音声を、再び原音に混ぜるエフェクトです。薄くかけると、複数の音が同時に鳴っているかのような音になります。

コーラスをプログラムに追加するには

1. **FX ボタン**を押します。

2. ディスプレイを見ながら**エンコーダー・ノブ**を回し、**Chorus**を選択しエンコーダー・ノブを押しします
3. **エンコーダー・ノブ**を回し、コーラスの設定を**Off**、**Light**、**Medium**、**Heavy**、**Custom**の中から選択し、エンコーダー・ノブを押しします。

設定をカスタマイズできるパラメーターの種類は以下の通りです。

- **Level**：コーラスのエフェクトレベルを（0 ～ 100）から調整します。
- **Rate**：コーラス・エフェクトの揺れの周期を（1Hz ～ 3Hz）から設定します。
- **Depth**：コーラス・エフェクトの深さあるいは強さを設定します。0 ではかかり具合が浅く、100 では音揺れがかなり大きくなります。

エンコーダー・ノブを回してパラメーターを選択し、エンコーダー・ノブを押してパラメーター設定画面へと進みます。**エンコーダー・ノブ**を回してパラメーターを調節したら、**FX**ボタンを押して前のページへ戻ります。

4. FXメニューを終了するには再度**FX**ボタンを押しします。

Delay (ディレイ)

ディレイ・エフェクトは、原音から特定の時間だけ遅らせた音声を、エコーのように返すものです。

ディレイをプログラムに追加するには

1. **FX**ボタンを押しします。
2. ディスプレイを見ながら**エンコーダー・ノブ**を回し、**Delay**を選択しエンコーダー・ノブを押しします。
3. **エンコーダー・ノブ**を回し、ディレイの設定を**Off**、**Short**、**Mirror**、**Long**、**Custom**の中から選択し、エンコーダー・ノブを押しします。

設定をカスタマイズできるパラメーターの種類は以下の通りです。

- **Level**：ディレイのエフェクトレベルを（0 ～ 100）から調整します。
- **Time**：ディレイタイム（音の遅れる時間の長さ）を（0.0 ～ 742.9ms）から選択します。
- **Feedback**：エフェクト音がエフェクトの入力に再び戻される量を調節します。0 では戻される量はゼロで、100 ではかなりの量が入力に戻されます。

エンコーダー・ノブを回してパラメーターを選択し、エンコーダー・ノブを押してパラメーター設定画面へと進みます。**エンコーダー・ノブ**を回してパラメーターを調節したら、**FX**ボタンを押して前のページへ戻ります。

4. FXメニューを終了するには再度**FX**ボタンを押しします。

Global Menu (グローバルメニュー)

EWI Solo の操作性は、工場出荷時に最適化された設定になっておりますが、演奏/パフォーマンススタイルに合わせた設定に調整していただくことを推奨します。Global Menu で設定することができます。

Global Menu を開くには、**Global** ボタンを押します。

Global Menu 内を移動するには、**エンコーダー・ノブ**を回します。

サブメニューやオプションを選択するには、**エンコーダー・ノブ**を押します。

Global Menu 内で1つ前に戻るか**Global Menu を終了**するには、再度**Global**を押します。

まずは **Fingering (運指)** の設定の調整を推奨します。主に **Fingering (運指)** や **Breath Sensor (ブレスセンサー)**、**Bite Sensor (バイト・センサー)** の設定は、個々のパフォーマンススタイルによって好みが大きく分かれるところです。より精密な設定を行うには、EWI Solo Editor ソフトウェアをご使用ください。

設定の調整は複雑に思えるかもしれませんが、演奏する度に設定を調整する必要はありません。演奏スタイルにマッチした設定を行うと、EWI Solo でのパフォーマンスがより表現力豊かで正確なものになります。一度お好みに合った設定を保存すれば、それ以上の設定作業は必要ないでしょう。

調整できるセンサーや項目は以下の通りです。詳しくは、次の章をご参照ください。

Breath Sensor	Hold Button
ブレスセンサー	ホールド・ボタン
Bite Sensor	Interval Button
バイトセンサー	インターバル・ボタン
Key Action	LFO/Modulation
キー・アクション	LFO/モジュレーション
Fine Tuning	MIDI Channel
チューニング	MIDI チャンネル
Fingering	Speaker
運指	スピーカー
Glide Plate	30min Idle Shutdown
グライド・プレート	アイドル状態（30分後）の自動シャットダウン
Pitch Bend Plate	Patch Font Size
ピッチベンド・プレート	フォントサイズ選択

Breath Sensor (ブレスセンサー)

EWI Solo のブレスセンサーは、感知した息の強さによって音量と音色を変化させます。演奏スタイルに合うようにブレスセンサーの感度を調節してください。

ヒント： EWI Solo を初めて演奏する場合には、楽に吹けるように、ブレスセンサーが「軽く」動作するように設定するのが良いかもしれません。練習を積んでいけば動作が「重く」なるように設定し、より表現力豊かな演奏ができるようになります。

- **Offset**：どのくらいの息量で音が鳴り始めるかの設定です。(0 ~ 100) から設定します。
- **Sensitivity**：息量に対するブレスセンサーの感度の設定です。(0 ~ 100) から設定します。
- **Learn Mode**：マウスピースを吹きながら **Hold ボタン**を押すと音量が最小に、**Interval ボタン**を押すと音量が最大になります。**Offset** と **Sensitivity** の値はディスプレイ下に表示されます。
- **Capture Delay**：マウスピースに息を吹いた瞬間からノートオン・メッセージが送信されるまでの遅延時間を(01~10)から設定します。
- **Output Mode**：ブレスセンサーが送信する MIDI データの種類の設定です。

- **Breath CC**：このモードでは、ブレスセンサーは、**CC#2** を使用して単一のブレス・メッセージを送信するか、**CC#2** と **CC#34** の両方を使用してハイレゾリューション・ブレス・メッセージを送信します。

Low を選択すると **CC#2** のみを使用してメッセージを送信し、**Hi** を選択すると **CC#2** と **CC#34** の両方を使用してメッセージを送信します。(ペロシティがロックされている場合を除き、各ノートオン・メッセージの前に **CC#88** を使用して追加メッセージが送信されます。)

- **Volume CC**：このモードでは、ブレスセンサーは、**CC#7** を使用して単一のボリューム・メッセージを送信するか、**CC#7** と **CC#39** の両方を使用してハイレゾリューション・ボリューム・メッセージを送信します。

Low を選択すると **CC#7** のみを使用してメッセージを送信し、**Hi** を選択すると **CC#7** と **CC#39** の両方を使用してメッセージを送信します(ペロシティがロックされている場合を除き、各ノートオンメッセージの前に **CC#88** を使用して追加のメッセージが送信されます。)

- **Expression CC**：このモードでは、ブレスセンサーは、**CC#11** を使用して単一のエクスプレッション・メッセージを送信するか、**CC#11** と **CC#43** の両方を使用してハイレゾリューション・エクスプレッション・メッセージを送信します。

Low を選択すると **CC#11** のみを使用してメッセージを送信し、**Hi** を選択すると **CC#11** と **CC#43** の両方を使用してメッセージを送信します(ペロシティがロックされている場合を除き、各ノートオン・メッセージの前に **CC#88** を使用して追加のメッセージが送信されます。)

- **Aftertouch**：このモードを選択すると、ブレスセンサーはアフタータッチ・メッセージ(ポリフォニック・プレッシャー)を送信します。

- **Channel Pressure**：このモードを選択すると、ブレスセンサーはチャンネル・プレッシャー・メッセージを送信します。

- **Custom CC**：このモードを選択すると、ブレスセンサーはカスタム MIDI CC メッセージを送信します。

- **Controller Number** : プレスセンサーのカスタム・コントロールの値 (0 ~ 127) を決定します。

重要 : CC#7 (ボリューム) 調整時に EWI Solo の出力が誤ってミュートされるのを防ぐため、パラメーターを変更する際にマウスピースに触れないことをお勧めします。

- **No Breath** : マウスピースに吹き込んでいない時に送信されるコントロールの値を (00~127) から選択します。
- **Breath** : マウスピースを吹いた時に送信されるコントロールの値を (00~127) 選択します。
- **Lock Velocity** : これをオンにすると、プレスセンサーがベロシティに影響しなくなり、すべてのノート・オン・メッセージは固定のベロシティで送信されます。
 - **Enable** : Lock Velocity の ON/OFF を切り替えます。
 - **Output Velocity** : ノート・オン・メッセージで送信される固定ベロシティの値を (0 ~ 127) 選択します。
- **Constant Output** : これをオンにすると、プレスセンサーが固定した値のプレス・メッセージを送信します。外部エフェクトを使用したり、EWI Solo を音源として使用する場合に便利です。
 - **Enable** : Constant Output の ON/OFF を切り替えます。
 - **Output Velocity** : プレス・メッセージの固定ベロシティの値を (0 ~ 127) 選択します。

Bite Sensor (バイト・センサー)

バイト・センサーは、演奏中にマウスピースを噛むことでビブラート効果をコントロールします。

ヒント：ビブラート効果はマウスピースを噛み続けるのではなく、何度も噛むことで得られます。

- **Sensitivity** : バイト・センサー感度の設定です。(0 ~ 25) から設定します。低い値に設定する程、マウスピースをより強く噛む力が必要になります。
- **Filter** : バイト・センサーでのハイパス・フィルター・コントロールの ON/OFF を切り替えます。ON に設定すると吹いた音にフィルターがかかりますが、マウスピースを噛み続けても、音は最終的に元の状態に戻ります。
- **Output Mode** : バイト・センサーの送信する MIDI データの種類の設定です。
 - **Off** : バイト・センサーを無効化するモードです。
 - **Pitch Bend** : 演奏中にマウスピースを噛むことで、ピッチベンド効果が得られます。ピッチベンドの範囲は (-63 ~ 0 ~ +63) に設定できます。
 - **Add to Breath** : マウスピースを噛むことで、**プレス・センサー**の出力が変化します。出力の値は (-63 ~ 0 ~ +63) に設定できます。
 - **Custom CC** : このモードを選択すると、マウスピースを噛んだ時にカスタム MIDI CC メッセージが送信されます。
 - **Controller Number** : マウスピースを噛んだときに送信されるコントロールの値を (0 ~ 127) 設定します。

重要：CC#7 (ボリューム) 調整時に EWI Solo の出力が誤ってミュートされるのを防ぐため、パラメータを変更する際にマウスピースに触れないことをお勧めします。
 - **Not Biting** : マウスピースを噛んでいないときに送信されるコントロールの値を (0 ~ 127) に設定できます。
 - **Biting** : マウスピースを噛んでいるときに送信されるコントロールの値を (0 ~ 127) に設定できます。

Key Action (キー・アクション)

EWI Solo のノートキー・アクションは、運指の急激な変化に対応するように調整されていますが、演奏スタイルによっては、予期しない音が出てしまう場合があります。この場合、Key Delay (キー・ディレイ) を調整することで、よりスムーズに演奏できるようになるでしょう。

- **Key Delay** : キーを押したことが認識されるまでにかかる時間の設定です。値は (1 ~ 20) に設定できます。

ヒント：Key Delay を大きい値に設定すると演奏ミスは減りますが、素早い運指での演奏ができなくなる場合があります。この場合、あまり大きい値に設定しない方が良いでしょう。

- **Key Sensitivity** : キー感度を (1 ~ 13) から設定します。低い値に設定する程、キーをより強く押す力が必要になります。
- **Enable K10** : K10 キーの ON/OFF を切り替えます。K10 キーはデフォルト設定では ON の状態になっています。OFF にすると、K10 キーを触っても演奏するノートに影響はなくなりますが、Direct Mode などの機能には使用できません。

Fine Tuning (チューニング)

EWI Solo のチューニングの値を (-100 ~ 0 ~ +100 セント) から設定します。大まかなピッチのチューニングをするには、**Edit Menu** の **Pitch Tuning** から設定を行ってください。

Fingering (運指)

EWI Solo では、様々な演奏スタイルに応じた運指モードが選択できます。

- **Standard EWI** : 従来の木管楽器に準拠した、EWI Solo の標準的な運指です。
- **Saxophone** : 標準的なサクソフォンに似た運指です。このモードでは、発音している高音より下に置かれた指は無視されます。
- **Flute** : 標準的な C 管のフルートに似た運指です。ただし、フルート奏者の方は、EWI Solo を正しく演奏するために、いくつかの新しい運指に慣れていただく必要があります。
- **Oboe** : 標準的なオーボエに似た運指です。ただし、オーボエ奏者の方は、EWI Solo を正しく演奏するために、いくつかの新しい運指に慣れていただく必要があります。
- **EVI** : EVI とはエレクトリック・バルブ・インストゥルメントの意味です。この運指は、金管楽器に近い運指を使いたい方向に向いているでしょう。
- **Reverse EVI** : 左手首の動きが、実物の EVI を使用した時に最も近くなる設定です。主に、熟練した EVI 奏者の方にお薦めの運指です。

様々な運指モードの違いについては、[付録>運指一覧](#)をご参照ください。

Glide Plate (グライド・プレート)

EWI Solo のグライド・プレートを使うと、ノート間を滑らかに移行する「ポルタメント」と呼ばれるグライド効果が得られ、演奏がより表情豊かになります。それとは別に、グライド・プレートを使用して異なる MIDI CC メッセージを送信するような設定も可能です。

重要 :

ポルタメントを使用するには、Glide Plate モードで **Portamento** であることを確認してください。

サウンドモジュールによっては、ポルタメント・メッセージにうまく反応できずに望ましくない音を発するものもあるかもしれません。そのような場合には、Glide Plate モードで **Portamento** を OFF に設定してください。

- **Portamento** : このモードではグライド・プレートは CC#5 (Portamento) を使用してメッセージを送信します。
 - **Time CC Enable** : **CC#5** メッセージ出力の ON/OFF を切り替えます。
 - **Time CC Data-Up** : グライド・プレートに **触れていない**ときに送信される CC ナンバーの値を (0 ~ 127) から設定します。
 - **Time CC Data-Press** : グライド・プレートに **触れた**ときに CC ナンバーと一緒に送信される値を (0 ~ 127) から設定します。
 - **Switch Enable** : **CC#65** を使用したメッセージ送信の ON/OFF を切り替えます。

- **Legato Time (レガート・タイム)** : グライド・プレートが **CC#104** を使用したメッセージを送信します。EWI Solo はこのメッセージをレガート・タイムの設定に利用します。これは、次の音を鳴らした時に前の音が維持される時間で、短く設定すると、音が急激に切り替わり、長く設定するとスラーのような滑らかな変化になります。
 - **Data-Up** : グライド・プレートに**触れていない**ときに送信される CC ナンバーの値を (0 ~ 127) から設定します。
 - **Data-Press** : グライド・プレートに**触れた**ときに CC ナンバーと一緒に送信される値を (0 ~ 127) から設定します。
- **Custom CC** : このモードを選択すると、グライド・プレートはカスタム MIDI CC メッセージを送信します。
 - **Controller Number** : グライド・プレートから送信されるコントロールの値を (0 ~ 127)から設定します。

重要 : CC#7 (ボリューム) 調整時に EWI Solo の出力が誤ってミュートされるのを防ぐため、パラメータを変更する際にグライド・プレートに触れないことをお勧めします。

- **Data-Up** : グライド・プレートに**触れていない**ときに送信される CC ナンバーの値を (0 ~ 127) から設定します。
- **Data-Press** : グライド・プレートに**触れている**ときに CC ナンバーと一緒に送信される値を (0 ~ 127) から設定します。

Pitch Bend Plate (ピッチベンド・プレート)

ピッチベンドプレートに触れることで、ピッチベンド効果 (音程のアップ・ダウン) を得ることができ、より表現豊かな演奏が可能になります。ピッチベンド・プレートが他の MIDI コントローラーのそれぞれに CC メッセージを送信する設定にすることもできます。

重要 : 全体的なピッチの変化は、親指がプレートにどの程度触れているか、およびどのようにプレートに触れているかによって異なります。最良の結果を得るには、下記の設定をお試しください。

- **Pitch Bend** : ピッチベンド・プレートに触れると、吹いたノートに対してピッチベンド効果が得られます。ピッチベンドの範囲は (-63 ~ 0 ~ +63) に設定できます。
- **Custom CC** : ピッチベンド・プレートに触れたときに送信されるカスタム MIDI CC メッセージの設定です。
 - **Controller Number** : ピッチベンド・プレートに触れたときに送信されるコントロールの値を (0 ~ 127) から設定します。

重要 : CC#7 (ボリューム) 調節時に EWI Solo の出力を誤ってミュートしないように、パラメータを変更する際にはピッチベンドプレートに触れないことをお勧めします。

- **Data-Up** : ピッチベンド・プレートに**触れていない**ときに送信される CC ナンバーの値を (0 ~ 127) から設定します。
- **Data-Press** : ピッチベンド・プレートに**触れている**ときに CC ナンバーと一緒に送信される値を (0 ~ 127) から設定します。

Hold Button (ホールドボタン)

Hold を押すと EWI Solo はホールドモードになります。ホールドモードでは、最初に押したノートの音を鳴らし続けながら、他の音やメロディラインを重ねて鳴らすことができます。

- **Off** : Off を選択すると、Hold ボタンを無効化します。
- **Legato Mode** : ノートを鳴らす前に **Hold ボタン** を押してホールドモードを有効化するモードです。**Hold ボタン** を押してから最初に鳴らしたノートは、息継ぎをするまでに鳴らした他のノートと重なって鳴ります。ホールドした音の重なりは、一旦息継ぎをするとリセットされます。

No Latch に設定すると、**Hold** ボタンを押さえている間だけホールドモードになる設定になります。**Latch** に設定すると、**Hold** ボタンは 1 度押すとホールドモードになり、もう 1 度押すとホールドモードが OFF になるホールドモードの ON/OFF 切り替えボタンとして機能します。

- **Non-legato Mode** : ある音を鳴らしている間に **Hold** ボタンを押すと、ホールドモードが ON になるモードです。その後は、他の音を鳴らしても **Hold** ボタンを押した時に鳴っていた音がそのままホールドされます。**Hold** ボタンをもう一度押すと、ホールドモードが OFF になります。

No Latch に設定すると、**Hold** ボタンを押さえている間だけホールドモードになる設定になります。**Latch** に設定すると、**Hold** ボタンは 1 度押すとホールドモードになり、もう 1 度押すとホールドモードが OFF になるホールドモードの ON/OFF 切り替えボタンとして機能します。

Note : プログラムによっては、Non-legato Mode がうまく機能しない場合があります。詳しくは、[付録>プログラムリスト](#)をご参照ください。

- **Custom CC** : このモードを選択すると、**Hold** ボタンは MIDI CC メッセージを送信します。
 - **Controller Number** : **Hold** ボタンから送信されるコントローラーの値を (0 ~ 127) から設定します。
 - **Data** : 演奏中に **Hold** ボタンが押された際に送信する値を (0 ~ 127) から選択します。**Hold** ボタンから手を離すと 0 の値が送信されます。**Latch Mode** については下記をご参照ください。
 - **Latch Mode** : **No Latch** に設定すると、**Hold** ボタンを押さえている間だけホールドモードになる設定になります。**Latch** に設定すると、**Hold** ボタンは 1 度押すとホールドモードになり、もう 1 度押すとホールドモードが OFF になるホールドモードの ON/OFF 切り替えボタンとして機能します。

Interval Button (インターバル・ボタン)

Interval ボタンを押すとインターバルモードになります。これによって、運指で決まった音にもうひとつの、特定の音程差の音が加わり、ハーモナイズされたサウンドを演奏することができます。

重要：インターバルモードでは、グライド・プレートによるポルタメント・メッセージの発信は OFF の状態になります。

- **Off**：Interval ボタンを無効化するモードです。
 - **Fixed Interval**：Interval ボタンを押すと、(-24 ~ 0 ~ +24) から設定した音程の音を加えてハーモナイズできます。
- **Real-time Interval**：下記の手順で演奏中にインターバルモードに入るモードです。
 - i. 音を鳴らす。
 - ii. 音を鳴らし続けた状態で **Interval** ボタンを押す。
 - iii. 別のノートの音を鳴らす。最初に鳴らした音と次の音のインターバルモードの音程として設定され、ハーモナイズします。インターバルモードは、Interval ボタンをもう一度押すと OFF になります。
- **Custom CC**：Interval ボタンが送信するカスタム MIDI CC メッセージの設定です。
 - **Controller Number**：Interval ボタンが送信するコントロールの値を (0 ~ 100) から設定します。
 - **Data**：演奏中に Interval ボタンを押したときに送信する値を (0 ~ 127) から選択します。Interval ボタンから手を離すと 0 の値が送信されます。**Latch Mode** については下記をご参照ください。
 - **Latch Mode : No Latch** に設定すると、Interval ボタンを押さえている間だけインターバルモードになる設定になります。**Latch** に設定すると、Interval ボタンは 1 度押すとインターバルモードになり、もう 1 度押すとインターバルモードが OFF になるインターバルモードの ON/OFF 切り替えボタンとして機能します。

LFO/Modulation (LFO/モジュレーション)

適応されるモジュレーション (CC#1) を設定します。CC#1 を出力する際の追加のコントロールの値は、この最小量と 127 の間でスケーリングされています。

MIDI Channel (MIDI チャンネル)

EWI Solo は、割り当てられた MIDI チャンネル (1-16) を介して MIDI メッセージを送信します。このチャンネルはシンセの入力チャンネルでもあります。

Speaker (スピーカー)

内蔵スピーカーに関する設定です。

- **Off**：内蔵スピーカーが常に OFF になる設定です。
- **Off by HP/Line**：ヘッドホン端子または Line Out ポートが使用されている際に限り内蔵スピーカーが鳴らなくなる設定です。
- **On**：内蔵スピーカーが常に ON になる設定です。

30min Idle Shutdown (30分のアイドル状態後の自動シャットダウン)

30min Idle Shutdown (いわゆる省電力モード) の **ON/OFF** を切り替えます。ON に設定し、30分以上操作がなかった場合 EWI Solo は自動的にシャットダウンします。

Patch Font Size (フォントサイズ選択)

プログラムリストやお気に入りリストを見る際にディスプレイに表示されるフォントサイズを (**Small**、**Large**) から選択できます。デフォルトでは、大きい方の **Large** に設定されています。

詳しくは [付録>運指一覧](#) をご参照ください。

その他の機能

設定の初期化

EWI Solo の設定を工場出荷時の状態に戻す方法：

1. EWI Solo とコンピュータの接続を外します。
2. **POWER ボタン**を 1 秒間押し続けた後で離し、EWI Solo の電源を**オフ**にします。
3. **プログラム (Program) ボタン**、**エフェクト (FX) ボタン**、**ホールド (Hold) ボタン**を同時に長押しして、押さえておきます。
4. そのまま **POWER ボタン**を 1 秒間押し続け、EWI Solo の電源を**オン**にします。
5. 全てのボタンから指を離します。
6. この状態で電源が**オン**になると、**ディスプレイ**に下記三つの初期化オプションが表示されます。**エンコーダー・ノブ**を回してご希望のオプションを選択し、決定するには**エンコーダー・ノブ**を押します。
 - **Continue Normally (通常起動する)**：この初期化メニューを開いてしまったが、EWI Solo の設定初期化は望まない (初期化のキャンセル) 場合はこちらを選択します。
 - **Reset GLOBAL Only (Global 設定のみ初期化する)**：Global 設定のみ初期化する場合はこちらを選択します。
 - **Reset Everything (全て初期化する)**：全ての設定を工場出荷時の状態に初期化する場合はこちらを選択します。

※ 初期化オプションを数秒間選ばずにいると、EWI Solo は通常起動します。

重要：実行した初期化の操作は **Undo (操作取り消し)** できませんのでご注意ください。

充電電池

EWI Solo は充電式リチウム電池を使用しております。充電電池の寿命は使い方によって左右され、適切な使用と処理により長年使用することができます。充電電池を長く使用するために、以下のヒントを参考にしてください。

一般的な仕様方法 使用する前にフル充電しておきます。

保管方法 32°C 以上または 0°C 以下の場所や、湿った場所で保管することを避けてください。

修理方法 バッテリーへの充電がされない場合やその他の修理につきましては、サポート akai-pro.jp/support までご連絡ください。

電池の交換方法：標準のプラスドライバー (別売) を使用し、**USB ポート**の下にある EWI Solo のバッテリーカバーを取り外し、バッテリーを取り付け、カバーを再度固定します。

廃棄方法 お住いの地域の条例に従って充電電池を処分してください。

ファームウェアのアップデート

EWI Solo のファームウェアは簡単にアップデートできます。以下の手順に従ってファームウェアをアップデートしてください。新たに改善された機能などがご利用可能になります。

ヒント：ウェブサイト akai-pro.jp に時々アクセスし、EWI Solo のファームウェアや EWI Solo Editor のアップデートや関連資料の更新などをご確認ください。

EWI Solo ソフトウェアをアップデートするには

1. akai-pro.jp/ewi-solo/にアクセスし、EWI Solo Editor の最新バージョンをダウンロードします。
2. 付属の USB ケーブルと EWI Solo の **USB ポート** をご使用のコンピュータに接続します。
3. ご使用のコンピュータで EWI Solo Editor を起動すると、ご使用の EWI Solo ファームウェアが最新のバージョンかどうか自動的にスキャンされます。アップデートが必要な場合は、ダウンロードを促すメッセージが表示されますので、ファームウェアの最新バージョンをダウンロードしてください。
4. EWI Solo のディスプレイとソフトウェア上でアップデートが開始した事が表示されます。
アップデートが完了すると、USB ケーブルを外すように促すメッセージがディスプレイに表示されます。
アップデートに失敗すると、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。この場合は、一旦 USB ケーブルをコンピュータから外し、上記の天順 2 からやり直してください。
5. アップデートが完了したら、EWI Solo をコンピュータからいったん外して電源を切ります。その後再度電源を入れると、最新のファームウェアで EWI Solo がご使用になれます。

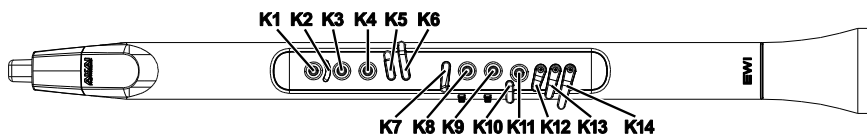
EWI Solo ソフトウェアを EWI Solo Editor から手動でアップデートする場合

1. **EWI Solo Editor** で **Settings** ボタンを押します。
2. **Firmware バージョン**の番号の隣にある **Update** ボタンを押します。
3. 開いたウィンドウで、**.syx** 形式ファイルを見つけて選択し、**Open** をクリックします。EWI Solo のディスプレイ上でアップデートが開始した事が表示されます。
アップデートが完了すると、USB ケーブルを外すように促すメッセージがディスプレイに表示されます。
アップデートに失敗すると、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。この場合は、一旦 USB ケーブルをコンピュータから外し、上記の天順 2 からやり直してください。
4. アップデートが完了したら、EWI Solo をコンピュータからいったん外して電源を切ります。その後再度電源を入れると、最新のファームウェアで EWI Solo がご使用になれます。

上記以外の問題が生じた場合には、サポート akai-pro.jp/support までご連絡ください。

付録

運指一覧



上図は、以下に示す様々な運指モード一覧表の横軸に、本体のどのキーが対応しているかを示しています。

EWI (EWI 標準)

Oboe (オーボエ)

Saxophone (サクソフォン) EVI (EVI 標準)

Flute (フルート)

EVI Reversed (EVI リバース)

K1 ~ K6 のキーは左手、K7 ~ K14 のキーは右手で押さえます。

EWI (EWI 標準)

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)							
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	K14
A#	●)	●	●				●	●		●			
B	●)	●	●				●	●		●			
B (alt.)	●)	●	●				●	●		●			
C	●)	●	●				●	●		●			
C (alt.)	●)	●	●				●	●		●			
C#	●)	●	●				●	●		●			
C# (alt.)	●)	●	●				●	●		●			
D	●)	●	●				●	●		●			
D#	●)	●	●				●	●		●			
E	●)	●	●				●	●		○			
F	●)	●	●				●	○		○			
F#	●)	●	●				○	●		○			
F# (alt.)	●)	●	●				●	○		○			
G	●)	●	●				○	○		○			
G#	●)	●	●				○	○		○			
A	●)	●	○				○	○		○			
A#	●)	●	○				○	○		○			
A# (alt.)	●)	○	○				●	○		○			
A# (alt.)	●)	○	○				○	○		○			
B	●)	○	○				○	○		○			
C	○)	●	○				○	○		○			
C (alt.)	●)	○	○				○	○		○			
C#	○)	○	○				○	○		○			
D	○)	○	○				○	○		○			

Saxophone (サクソフォン)

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)							
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	K14
A#	●	⌋	●	●	○	▮	○	●	●	○	●	○	▮	▮
B	●	⌋	●	●	○	▮	○	●	●	○	●	○	○	▮
C	●	⌋	●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	▮
C#	●	⌋	●	●	▮	○	○	●	●	○	●	○	○	▮
D	●	⌋	●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○
D#	●	⌋	●	●	○	○	○	●	●	○	●	▮	○	○
E	●	⌋	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
F	●	⌋	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
F#	●	⌋	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
F# (alt.)	●	⌋	●	●	○	○	○	●	○	▮	○	○	○	○
G	●	⌋	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
G#	●	⌋	●	●	▮	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A	●	⌋	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A#	●	⌋	●	○	○	○	▮	○	○	○	○	○	○	○
A# (alt.)	●	⌋	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
A# (alt.)	●	⌋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B	●	⌋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C	○	⌋	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C (alt.)	●	⌋	○	○	○	○	▮	○	○	○	○	○	○	○
C#	○	⌋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
D	○	⌋	○	○	○	○	▮	○	○	○	○	○	○	○

Flute (フルート)

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)							
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	K14
C	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
C#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
E	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
F	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
F#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	●	∪	∪	∪
F# (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	○	∪	∪	∪
G	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
G#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
A	●	∪	●	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
A# *	●	∪	○	○	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
A# (alt.)	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
B	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
B to C (trill) [†]	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
B to C# (trill) [†]	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	∪	∪	∪	∪
C **	○	∪	●	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
C to D (trill) [†]	○	∪	●	○	∪	∪	∪	○	○	∪	∪	∪	∪	∪
C#	○	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
C# to D# (trill) [†]	○	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	∪	∪	∪	∪

* K8、K9 または K11 のどのキーをどの組み合わせで押さえても、この A#音が鳴ります


** フルーツ奏者の方が新たに覚える必要のある、フルーツ式とは異なる唯一の運指です。



トリル奏法で演奏するには、上記運指表でこちらのアイコンの表示されているキーを繰り返しタップしながら EWI Solo を吹くと二つのノート間を行き来できます。

Oboe (オーボエ)

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)							
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	K14
A#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
B	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
C	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
C#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D# (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
E	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
F	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
F to Gb (trill) [†]	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	◐	∪	○	∪	∪	∪
F to G (trill) [†]	●	∪	●	●	∪	∪	∪	◐	●	∪	○	∪	∪	∪
F (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
F (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	●	∪	∪	∪
F#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
G	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
G (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	○	∪	∪	∪
G#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
G# (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
A	●	∪	●	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
A#	●	∪	●	○	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
A# to B (trill) [†]	●	∪	◐	○	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
B	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
B to C# (trill) [†]	●	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
C	●	∪	○	○	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
C#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
C# (alt.)	○	∪	○	○	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
D	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D#	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D# (alt.)	●	∪	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪

 トリル奏法で演奏するには、上記運指表でこちら二つのアイコンの表示されているキーを繰り返してタップしながら EWI Solo を吹くと二つのノート間を行き来できます。

EVI (EVI 標準)

Note	Note Keys (Left Hand)						Note Keys (Right Hand)							
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	K14
C#	●)	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	●	∪	∪	∪
D	●)	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	●	∪	∪	∪
D#	●)	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	●	∪	∪	∪
E	●)	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
F	●)	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
F#	●)	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	○	∪	∪	∪
G	●)	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪
G#	○)	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	●	∪	∪	∪
A	○)	●	●	∪	∪	∪	●	●	∪	○	∪	∪	∪
A#	○)	●	●	∪	∪	∪	●	○	∪	○	∪	∪	∪
B	○)	●	●	∪	∪	∪	○	●	∪	○	∪	∪	∪
C	○)	●	●	∪	∪	∪	○	○	∪	○	∪	∪	∪

EVI (EVI リバース)

EVI リバースの運指は **EVI** と同じで、オクターブ・ローラーの配列のみ逆になります。

メニュー早見表

Global Menu		Values
Breath Sensor		
	Offset	
	Sens	
	Learn	
	Capture Delay	
	Output Mode	
	Breath CC	Low, Hi
	Volume CC	Low, Hi
	Expression CC	Low, Hi
	Aftertouch	Low, Hi
	Channel Pressure	Low, Hi
	Custom CC	
		Controller Number 0-127
		No Breath 0-127
		Breath 0-127
	Lock Velocity	Off, On
	Output Velocity	0-127
	Constant Output	Off, On
	Output Velocity	0-127
Bite Sensor		
	Sensitivity	
	Filter	Off, On
	Output Mode	
	Off	
	Pitch Bend	-63 - 0 - +63
	Add to Breath	-63 - 0 - +63
	Custom CC	
		Controller Number 0-127
		Not Biting 0-127
		Biting 0-127
Key Action		
	Key Delay	1-20
	Key Sensitivity	1-13
	Enable K10	Off, On
Fine Tuning		-100 - 0 - +100
Fingering		
	EWI	
	Saxophone	
	Flute	
	Oboe	
	EVI	

Global Menu (continued)		Values
Glide Plate		
Portamento		
	Time CC Enable	On, Off
	Time CC Data-Up	0–127
	Time CC Data-Press	0–127
	Switch Enable	Off, On
Legato Time		
	Data-Up	0–127
	Data-Press	0–127
Custom CC		
	Controller Number	0–127
	Data-Up	0–127
	Data-Press	0–127
Pitch Bend Plate		
Pitch Bend		-63 – 0 – +63
Custom CC		0–127
	Controller Number	0–127
	Data-Up	0–127
	Data-Press	0–127
Hold Button		
Off		
Legato Mode		No Latch, Latch
Non-legato Mode		No Latch, Latch
Custom-CC		
	Controller Number	0–127
	Data-Up	0–127
	Data-Press	0–127
Interval Button		
Off		
Fixed Interval		-24 – 0 – +24
Real-Time Interval		
Custom-CC		
	Controller Number	0–127
	Data-Up	0–127
	Latch Mode	No Latch, Latch
LFO/Modulation		0–127
MIDI Channel		1–16
Speaker		Off, Off by HP/Line, On
30min Idle Shutdown		Off, On
Patch Font Size		Small, Large

FX Menu		Values
Reverb		
Off		
Small Room		
Large Room		
Hall		
Custom		
	Level	0–100
	Damping	0–100
	Room	0–100
Chorus		
Off		
Light		
Medium		
Heavy		
Custom		
	Level	0–100
	Rate	1–3 Hz
	Depth	0–100
Delay		
Off		
Short		
Mirror		
Long		
Custom		
	Level	0–100
	Time	0.0–742.9 ms
	Feedback	0–100

プログラムリスト

Number	Name
1	Alto Sax
2	Tenor Sax
3	Baritone Sax
4	Soprano Sax
5	Jazz Flute
6	Jazz Clarinet
7	Bass Clarinet
8	Trumpet
9	Dongxiao
10	Erhu
11	Retro Bass
12	Truth
13	Piccolo Trumpet
14	Harmon Trumpet
15	Cup Mute Trumpet
16	Ballad Trombone
17	Trombone
18	Cup Trombone
19	Pop Brass Section
20	Trumpet n Mute
21	Muted Brass Section
22	Classy Brass Section
23	Brass Section 1
24	Brass Section 2
25	Tuba
26	Classical C Flute
27	Classical Oboe
28	Classical English Horn
29	Classical Clarinet
30	Classical Bass Clarinet
31	Classical French Horn
32	Classical French Horn Bells Up
33	Classical Bassoon
34	Trumpet Ensemble
35	Trombone Ensemble
36	Hard Alto Sax
37	Soft Alto Sax
38	Hard Tenor Sax
39	Soft Tenor Sax
40	Hard Baritone Sax
41	Soft Baritone Sax
42	Hard Soprano Sax
43	Soft Soprano Sax
44	Sax Section
45	Woodwinds Section 1
46	Woodwinds Section 2
47	Woodwinds Section 3
48	Harmonica
49	Panpipes
50	Melodica

Number	Name
51	Accordion
52	Ocarina
53	Bagpipes
54	Recorder
55	Shakuhachi
56	Marimba *
57	Xylophone *
58	Vibraphone *
59	Steel Drums *
60	Violin
61	Viola
62	Cello
63	Double Bass
64	String Section
65	Orchestra
66	Nylon Guitar *
67	Steel Guitar *
68	Electric Guitar *
69	Lead Guitar *
70	Jazz Guitar *
71	Acoustic Bass *
72	Electric Bass *
73	Slap Bass *
74	Piano *
75	FM Piano *
76	Rhodes *
77	Harpichord *
78	Clavinet *
79	Wurli *
80	Qudi
81	Bangdi
82	Hulusi
83	Sheng
84	Suona
85	Nanxiao
86	Xun
87	Bawu
88	Guanzi
89	Jinghu
90	Banhu
91	Gaohu
92	Zhonghu
93	Matouqin
94	Guzheng *
95	Pipa *
96	Yangqin *
97	Liuqin *
98	San Xian *
99	Ruan *
100	Guqin *

Number	Name
101	B3 Organ Thin *
102	B3 Pinball Wizard *
103	B3 Hard Attack *
104	B3 Classic *
105	Rock Organ *
106	Drawbar Organ *
107	Classic Square
108	Classic Triangle
109	Reece
110	Raunchy Lead 3
111	Raunchy Lead 1
112	Angry Organ
113	Raunchy Lead 2
114	Triangle to Pulse
115	Happy Organ Wide
116	Square MW Growl
117	Saw MW Growl
118	Bubbler
119	Partial to You
120	Thick Octaves
121	Mono Edge
122	Aggro Pluck
123	Accordingly
124	Big Brasser
125	Fat and Foamy
126	Formant Bass
127	Mod Sinker
128	Ye Ol Brass
129	Dual Quack
130	Square Stack
131	Ducky
132	Try Me
133	Spectral Move
134	Vocal Oh Bass
135	Electro Rezo
136	Nsync
137	Classic Rez Saw
138	Classic Sine
139	Blade Ruiner
140	Ana Synth
141	Big Woop
142	FM Synth
143	Vowel Synth 1
144	LFO Squares
145	Thin Pulse
146	Stereo Filters
147	Fifths Saws
148	Twisted Flute
149	Wide Fuzz
150	Vowel Synth 2

Number	Name
151	Feed Me
152	Mono Brazz
153	Brassy Synth
154	80 Kick Sub Bass
155	Detuned Analog Saw
156	Saw Lead
157	Sine 80 Kick
158	Smooth Square
159	Soft Sync
160	Nice Wave
161	Fuzzy pulse
162	Nice Saw
163	Fat Square Lead
164	Smooth Square Lead
165	Resonating Lead
166	Big FM Bells *
167	Light Bells *
168	Digital Buzz Bells *
169	Stratotron *
170	Wavebellz *
171	Percussive Sine
172	Soft Strings
173	D Something *
174	Padsaw
175	Sparkling *
176	Bright n Bendy
177	Bright n Tight
178	Attack Brass
179	Super Saw
180	Soft Pad
181	Warmth Pad
182	Grand Scheme
183	Analog Pad
184	Mini Thump Bass
185	PWM Bass
186	Plucked Woody Bass
187	Octa Res Sweep Bass
188	Mini Soft Thump Bass
189	Retro Wind
190	Cantabile Saw
191	Colorful Shine
192	Colorful Star
193	Mimi
194	Mix Lead
195	Spirited
196	Totoro Lead
197	Ponyo
198	Kiki
199	Arriet
200	T-Island

* 上記リストのプログラム名の後に (*) の付くプログラムは、サウンドの性質上 **Non-legato Mode** では使用できません。

仕様

USB 経由 MIDI 出力チャンネル数	16
ノート・キー数	14
オクターブ・ローラー数	6 mobile, 2 fixed; 7-octave range
プレート数	ピッチバンド：1、グラウンド：2
入力/出力数	USB ポート：1 6.35mm TRS LINE 出力：1 3.5mm TRS ヘッドフォン出力：1 3.5mm TRS AUX 入力：1
電源	リチウムイオン充電電池（同梱、USB 充電式）
サイズ (W x D x H)	76.5 cm x 7.6 cm x 8.2 cm
重量	0.8 kg

仕様は予告なしに変更になる場合があります。

商標およびライセンス

Akai Professional および EWI は、米国およびその他の国で登録された inMusic Brands, Inc. の商標です。
macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc., の商標です。

Windows は、米国およびその他の国で登録された Microsoft Corporation の商標です。

Phillips は、合衆国およびその他の国で登録された Phillips Screw Company の商標です。
その他全ての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者によって登録された商標です。

AKAI[®]
PROFESSIONAL

akaipro.com

Manual Version 1.6_R1